

就労・多重債務・労働問題相談窓口 完全予約制、秘密厳守、相談無料

場 京阪電車守口市駅前テラスラザ2階(市民体育館側歩道橋前)

注 各相談日の正午～午後1時、年末年始、祝日を除く。

申・問 地域就労支援センター「三ホール」

TEL 06・6992・1290

問 地域振興課

TEL 06・6992・1490

Table with 2 columns: 就労支援相談 (毎週水曜日・金曜日 10:00～16:00) and 多重債務・労働問題相談 (毎週木曜日・土曜日 10:00～16:00)

募集 守口市 農業委員会委員

農業委員会などに関する法律の改正により、農業委員の選出方法が、これまでの選挙制および選任制から、市町村長による任命制に変更されました。

現在の農業委員は平成29年7月19日をもって任期満了となりますので、次期農業委員の任命に向けて、次のとおり推薦および公募により農業委員候補者の募集を行います。

募集人数

14人(利害関係を有しない中立委員1人以上を含む)

任期

平成29年7月20日～平成32年7月19日までの3年間

職務内容

毎月の定例会への出席、農地の権利移動や転用に係る現地調査および耕作放棄地の発生防止・解消指導など

身分

市の特別職の非常勤職員

委員報酬 市の規定に基づき支給

募集要項などの公表

平成29年1月下旬 受付期間

2月1日(水)午前9時～28日(火)午後5時30分

注 郵送の場合は2月28日(火)消印有効

守口市農業委員選定委員会開催

平成29年3月下旬 募集要項および応募様式などの入手方法

地域振興課 また、市ホームページからもダウンロードできます。

問 地域振興課

TEL 06・6992・1491

HP http://www.city.morigu.chiosaka.jp/



Historical Route Check (歴史の道 東海道検定) advertisement with image of a historical site and text.

「東海道マイスター」

第9回東海道検定受験公開講座(東海道歴史講座)

時 2月19日(日)午後2時

場 中央コミュニケーションセンター 4階会議室

講 守口門真歴史街道歴史顧問・岸田護氏

申・問 守口門真歴史街道推進協議会

TEL 06・6909・8531

場 守口文化センター(エナジーホール)3階会議室

時 3月5日(日)午後1時30分

場 守口文化センター(エナジーホール)3階会議室

時 3月5日(日)午後1時30分

場 守口文化センター(エナジーホール)3階会議室

時 3月5日(日)午後1時30分

▽2級(3級合格者)4択50問と記述25問

検定時間 90分

注 申込後の返金は不可

申・問 2月20日(月)までに、NPO歴史の道東海道宿駅会議事務局

TEL 0748・66・1164

HP http://www.tokaido.or.jp

申 大阪・京都地区 守口門真歴史街道推進協議会

TEL 06・6909・8531



人権啓発地域交流 ～ヒューマンライツメッセージ～

隣接する守口・門真・大阪市両国の人権協会などが協力し、人権の大切さを知ってもらうため開催します。

時 2月26日(日)午後2時

場 大阪市立清水小学校1階南会議室

内 出演 切磋亭琢磨氏(社会人落語家・元小学校教諭)

テーマ「笑って考えよう!身近な人権」

定 先着80人

申・問 人権室 TEL 06・6992・1512



女性に対する暴力をなくす(全5回)



子どもと女性のためのカウンセリングルーム 亀井明子さん

⑤スクール・セクシュアル・ハラスメントという性暴力

11月号で学校の中の体罰の問題を取り上げました。直接またもや大阪市の中学校で部活顧問が体罰を繰り返す、停職処分を受けるといふニュースが流れました。対象になったのは女子の部員でした。顧問は足の裏で太ももを蹴ったり髪の毛を引っ張ったりという内容です。子どもの人権を無視したところで子どもへの暴力は頻りに起こっているのです。

今回は保護者からの相談によって発覚しましたが、校長に対して相談するという点で勇気がいったことと思えます。校長の受け止め方によって、このような暴力が起きることによって子どもの伸び

ようとする力の芽を摘んでしまふことがないように学校は改革を余儀なくされているのです。

今回はもうひとつの学校内の暴力、性暴力を取り上げます。性暴力は一般的に証拠も残らないし、証人となる人もいない密室で行われるため解決しにくい問題と言われています。子どもに起こる性暴力も同様です。

スクールセクハラとは学校だけでなく、学習塾を含む子どもが学ぶ場、遊びの場、スポーツ教室などさまざまなか所で起こる子どもへのセクシュアル・ハラスメントです。

学校が大きく取り上げられるのは、教員から児童生徒への加害行為であることからきています。ここでは被害当事者となる児童生徒と先生との大きな力関係を考えてみます。ひとつには子どもと大人であり、教えられる側と教える側、ここに部活で起こると指導を受ける部員と指導者という関係が加わります。さらに障害がある児童生徒が被害に遭うことも多く、その際の先生は健常者であることが多いです。以上に述べただけでも

4重の力関係があります。加えて被害に遭う確率は圧倒的に女子が多いのです。加害行為者は男性の先生です。このことは毎年の文部科学省の調査結果から分かります。

例えば2014年度にわいせつ行為などで懲戒処分を受けた教員数が20人でその内男性加害者は20人、女性が4人でした。男性加害者の中には男子に対する加害行為も含まれると思えますがその内訳はありません。

校種別で20人の内訳は小学校50人、中学校68人、高等学校74人、特別支援学校13人です。

全在職者数91万9千253人からみると20人、0.02%というのは「たったこれだけ」と思えます。しかし、これは加害者になった人の割合であり、ひとりの加害者が複数の被害者を出しています。それだけ多くの性被害を受けた子どもが存在しています。被害を受けたことよって起こる心身への影響は大きく、何年も何十年もPTSD(※1)やフラッシュバックに苦しめられ、社会生活を送れないと訴える人がたくさんいます。と

りわけ成長過程で受ける性暴力は心身の発達に大きな影響を及ぼすと言われています。暴力は力関係で起こり、その傷はいつまでも癒えないことが大きな問題でもあるわけです。信頼しきっていた先生や顧問から受けることでさらに傷つきは深刻です。

子どもたちにこのようなつらい経験をさせないために先生たちの子どもの人権に対する意識変革を求めていかねばならないでしょう。

DVを含む大人の暴力が後を絶たない現在、子どもの世界でもいじめなどの暴力が展開されても不思議はありません。暴力は学習され再生産されていきます。まずは大人が子どもへのお手本となるよう暴力行為にもっと踏み込み分析し、「暴力0」を目指す取り組みを展開する必要があります。

(※1)PTSDは(Post Traumatic Stress Disorder)心的外傷後ストレス障害という。

問 人権室

TEL 06・6992・1512